

農村計画学

2016年12月21日の出席票より

EUの農業政策

- 欧州は日本よりグリーンツーリズムが発展していると聞いたことがあるが、参考文献などがあつたら教えていただきたい。
→いろいろあります。たとえば、農文協のホームページなどを見て下さい。
- EU諸国の農村は、EUと各国から二重の支援を受けていると言うことでしょうか。→日本の農村でも、国支援の事業、兼支援の事業、市町村支援の事業があり、偏らないよう調整しています。

土地利用計画

- 農村についてもBプランが定められているというのに驚いた。日本では線引きがあり、農業地域の都市計画については異なる法律の適用範囲となるが、国土で一体の都市計画制度を運用できるメリットは大きいと感じた。→「一体」であることは重要です。日本では、概ね都市と農村とを「別々に」計画していますが、もちろん「協調」はしています。

地域おこし協力隊

- 地域おこし協力隊は「ナリワイ」なしに生活できてしまう、という点で、地域の中で異質な存在になってしまっているという側面はないでしょうか。→地域おこしのための活動が「生業」に近いものであり、それは地方公務員的工作です。多くの住民とは異なる仕事をしていますが、異質だから邪魔とかいうわけではありません。むしろ頼れる存在になっている場合が多いと言えます。
- 総務省から地方公共団体に400万円渡すのはいいとして、本人への保証はないのですか。→その中から、本人には生活費として200万円が支給され、活動費も支給されます。